
ゼンブ、オレノモノ。

雲霧 柚留

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ゼンブ、オレノモノ。

【Nコード】

N4670L

【作者名】

雲霧 柚留

【あらすじ】

病んでる帯人に愛されてください。簡単で10話で完結する予定。

フラレタマスター！ デモスキデス。（前書き）

始め。

フラレタマスター。デモスキデス。

貴「ぐすっ・・・ぐすっ」

帯「マスター、どうして泣くんですか？」

貴「彼氏に・・・ふられたのっ・・・」「お前は知らない」って・・・」

帯「そんな人、許せん。でも大丈夫です。俺がいますから」

貴「帯人も好きだよっ・・・？でも、まだあの人が好きなの」

ぎゅっ

精一杯の力で抱きしめた。あいつのことなんて忘れてしまえ。僕がいる、僕はアイツより何倍もマスターのことを愛してる。

貴「帯人・・・私、あの人のことは諦める・・・帯人・・・私、どうすればいいの？」

帯「俺がいます。俺はマスターを愛してます。だから、」

しあわせにしてあげます

(アイツより、俺のことを愛して)
(マスターを、誰よりも幸せにするのは、俺です。)

フラレタマスター。デモスキデス。（後書き）

ぬわんじゃこりやああ！

ネエマスター？トナリノオトコダレデスカ？（前書き）

ちよーっと押し倒し入ります・・・

ネエマスター？トナリノオトコダレデスカ？

貴「」

なぜか最近マスターは、何か嬉しいことがあったのか、いつもニコニコしている。

俺が聞いても、「別に？」といって、ごまかされる。

ピンポン

貴「あつ、来た来た！」

男「ちわーっす」

貴「帯人、私の新しい彼氏だよ！」

マスターに彼氏？世界の半分を失った気がした。
ああ、これで喜んでいたんだ。

貴「ふられたあと優しくしてくれて。私告白したんだ。」
男「一途なところが好きになったんだ。」
帯「そうですか・・・」

少し話し終えた後、アイツは帰っていった。

貴「じゃあ、来週空けといてね！」
男「ん、わかった。」

許せないマスターは俺のもの
俺のすべて。

ドサッ・・・

貴「帯人・・・？」

マスターを押し倒して、唇を塞いだ。

帯「許せません、マスターは俺の物でしょう・・・？」
貴「・・・ごめんね・・・別れるね。思い上がったた。私には帯人
しかないもんね・・・」

俺のために笑ってください

（俺以外の笑顔なんて）

（マスターには、要らないでしょう？）

ネエマスター？トナリノオトコダレデスカ？（後書き）

んーなんでしょうこの物体X。

オレイガイノキオク、ゼンブケシタイナ（前書き）

むう・・・

オレイガイノキオク、ゼンブケシタイナ

夜中の2時

むく

帯「・・・マスター、寝たよね・・・」

布団から起きて、マスターの携帯を探す。

帯「男からのメールはみんな削除しなきゃ・・・」

あたりには、ピッ、ピッ、とケータイのボタンを押す音が響く。

帯「!？」

由梨ちゃんへ

俺さー、こういうのメールで言つの苦手だけどさー？

今頃寝てるかもしれないけど言っておきてーんだ。

俺、由梨ちゃんのがスゲー好き。

だから付き合って？お願い。

返事待ってる。

b y 柊

・・・許せない

削除削除削除削除削除

このメールは何通も送られていたから片っ端から消していった。

マスターは俺だけで十分です

秘密なんて許しません

（帯人？なんか最近ケータイのメールがよく消えるんだけど・・・）

（古いんじゃないんですか？そのケータイ。）

オレイガイノキオク、ゼンブケシタイナ（後書き）

・
・
・

イタイヨ、マスター・・・（前書き）

自傷ネタ。気をつけてください

イタイヨ、マスター・・・

洗面所あたりに、鉄の匂いが充満する。

赤い色が広がる。赤い色のふちは、すでに赤黒くなってしまっている。

貴「ただい・・・！？」

尋常じゃない鉄の匂いに顔をしかめる。・・・またやったんだ！

帯「おかえり・・・なさい・・・ますたあ・・・」

貴「ダメっていったのに何でやったの！？」

帯「さみし・・・くて・・・衝動的に・・・また」

貴「傷口洗わなきゃ・・・包帯巻き直しだね。」

帯「・・・やだっ！」

貴「どうしたの？そんなにワガママじゃなかったよね？」

帯「ますたー・・・にはっ、俺だけじゃなきゃ・・・やだ。彼氏は
っ・・・僕で十分でしょ・・・？」

ぎゆうっ

貴「そっか・・・帯人につらい思いさせちゃったのね・・・ごめん」

流れる血にかまわず。私は帯人を優しく抱きしめた。

帯「・・・ますたあ・・・」

貴女は俺のものですから

（俺だけ愛してほしい）

（そのためなら、痛みだって平気だから）

イタイヨ、マスター・・・（後書き）

やっちゃったぜ自傷ネタ・・・。

ココロガ、イタイヨ、マスター・・・（前書き）

・・・なんか凄い方向に・・・

ココロガ、イタイヨ、マスター・・・

今日のうちに全部出来ると良いけど・・・

貴「・・・」

帯「どうしましたか？マスター。」

後ろから抱きつかれて、危うく紅茶を落としそうになった。

貴「帯人、私ね」

帯「？」

貴「お見合い・・・することになったんだ。」

帯「マスター・・・っ？」

貴「もちろん断ったよ・・・でもっ、親の紹介だし・・・いつまでも一人って訳にもいかないでしょ・・・？」

帯「駄目です！マスターは俺のものです・・・誰にも渡しませんっ！」

貴「しかもね、そのお見合いのあとには・・・私の意志は無視して、正式に結婚するんだって」

帯「嫌です嫌です嫌です！」

貴「帯人、なんで分かってくれないの！？」

帯「マスターこそ・・・なんで、お見合いなんかするんですか・・・？」

貴「私だって帯人が一番好き！他の人なんてありえない！でもね・・・」

私は親のために・・・居るんだから

帯「そんなにつ・・・親が大事ですか・・・？」

貴「親なんて大嫌いよ。出来ることなら私が殴ってやりたいくらい」

帯「ならなんでっ・・・」

貴「・・・分からない。心の奥で何か望んでいるのかもね・・・」

ぎゅう

貴「帯・・・人・・・？」

帯「お願いです、マスター」

僕以外見ないでください

（心が、痛いよ）

（ここまでマスターが好きなんて、思ってたかった）

ココロガ、イタイヨ、マスター・・・（後書き）

悲しい・・・

ダイスキナノニ、ドウシテ？（前書き）

激短。

ダイスキナノニ、ドウシテ？

ブルルルル・・・ブルルルル・・・

貴「はい、一ノ瀬です。」

枢「あー？由梨ちゃん？」

貴「あ、枢くん！お久しぶり〜」

枢「お久しぶりじゃねーよ！ヒデエなあ、メール無視しといて・・・

「
貴「え？メール・・・？」

ひよいつ

貴「帯人おつ、返してよお」

帯「電話やメールは慎んでください・・・」

ガチャン

貴「なんでそんなことするのー？枢くんの電話勝手に切っちゃって
」

帯「マスター、忘れましたか？」

約束したはずですが

（電話は替わってあげません）
（メールも削除します。）

ダイスキナノニ、ドウシテ？（後書き）

短いっ！激短だよコレ

分かる人にはわかるように、最後は「マスタイズマイン」の歌詞から。

セカイナント、キエテシマエバイ。(前書き)

あーネタがあ・・・ねえよあ・・・

みんなー私にネタを分けてくれー！(タヒね

セカイナント、キエテシマエバイ。

貴「」

今日はいいことがあったな。
久しぶりに良介君と会って、お茶したし。

帯「お帰りなさい・・・マスター・・・」
貴「帯人！ブルーベリー買ってきたよ。」

ぎゅうつ・・・

貴「帯・・・人・・・？」
帯「マスター、あいつ誰ですか？仲良くしてっ・・・」
貴「ただの知り合いよ。まったく・・・」
帯「じゃあなんでキスしたんですか！」

えっ・・・？なんで知ってるの？ちょっと挨拶代わりに頬にただけなのに・・・
まさか・・・見てたの！？

帯「マスター・・・」

俺が嫌いなんですか？

（マスターの声が聞けるのも、愛されるのも俺だけでいい）
（他に愛される奴なんか要らない、それなら俺は）

セカイナシテ、キエテシマエバイイ。(後書き)

うう・・・自分で感動してたら世話ないよねえ

ダイスキ、ソノコエガトドカナイノ？（前書き）

うう・・・

ダイスキ、ソノコエガトドカナイノ？

あの日から、帯人と一緒にないと、外に行けなくなった。

女友達は「何？彼氏とか？ちょーカッコいいじゃん！」と言ってくる。（別に嫌じゃないけど）

貴「帯人、そろそろ寝よつか。眠たい・・・」

帯「そうですね、マスター。」

夜中

貴（帯人寝たよね・・・？）

帯（マスター寝ましたよね・・・）

由梨ちゃんへ

夜中は寒いだろーけど、

ちよつと来てほしいんだよね。

あいつがいるだろ？だから

来てほしいんだ。待ってるぜ。

貴「柊くん、何のようなのかな・・・？」

帯「マスター？」

貴「ひっ！」

帯「許せませんね、貴方が他の人に会いにいくなんて」
貴「たい．．．と．．．」

マスターマスターマスターマスターマスターマスターマスターマスターマスター
マスターマスターマスターマスターマスターマスターマスターマスターマスター
マスターマスターマスターマスターマスターマスターマスターマスターマスター

深刻なエラーが発生シマシタ アンインストールシマスか？

貴女が裏切るなんて

（いっそのこと、俺が壊してしまおうか）

（永遠に、愛す事なんか出来ないのに、思い続ける俺は）

ディスク、ソノコエガトドカナイノ？（後書き）

うう
うう
．．
．

マスターハ、オレノコトガニクイノ？ジャアオレヲケシテヨ。(前書き)

また激短なモノを・・・

マスターハ、オレノコトガニクイノ？ジャアオレヲケシテヨ。

マスターが怯えて、俺に近づこうとしない。

・・・それもそうか・・・昨日、ついカツとなつて、アイスピックでマスターの手を刺しちゃったから・・・

貴「・・・・・・・・」

帯「マスター、出てきてください」

貴「・・・・・・・・」

ずっとこの調子だ。それだけ怖い思いをさせてしまったのだろうか。

帯「マスター・・・・・・・・」

貴「・・・・・・・・」

帯「・・・・・・・・」

どうして、何で

帯「マスター・・・」

何がいけなかったんですか

（マスターは俺だけのものって）
（言いたかった、だけなのに）

スキデス、ゼツタイハナサナイカラ（前書き）

最終話。

スキデス、ゼツタイハナサナイカラ

貴「・・・帯人」

やっと許してもらえたのか、名前を呼んでもらえるくらいになった。

帯「なんですか？マスター」

貴「・・・帯人、大好き・・・だから、どこにもいかないで」

ぎゅっ

帯「・・・俺もです。」

マスターと僕（人と、ボーカロイド）

いつかは別れが来るかもしれない。

それでもいいんです。

ただ、貴女を愛しています

（大好きです。永久に愛します、だから、どこにも行かないで）

（愛してる。もう誰にも心を動かさないから、だから、私を愛して）

スキデス、ゼツタイハナサナイカラ（後書き）

最終的にもう意味が分からなくなつたね

ちよつと最終的にヒロインも病んでる・・・？

両方病んでたら世話無いわ。

あー帯人好きだー

もっと増えると思う・・・たぶん

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4670/>

ゼンプ、オレノモノ。

2010年10月9日05時47分発行